

神奈川県三浦市のシー・エフ・ネット様へベンチマーク訪問を行いました

Zenkankyo Report

平成29年10月3日・12月4日

平成29年度第5回の10月

3日には神奈川県三浦市の株式会社シー・エフ・ネット様へベンチマーク訪問、また12月4日には繁忙期を迎えるにあたりマインド部員間にて繁忙期対策ディスカッショングを実施しました。

●倉橋社長様よりお話を頂く

株式会社シー・エフ・ネット様のベンチマークでは、代表取締役 倉橋隆行様より、経営理念等についてご講演を頂きました。「不動産を通じて社会貢献企業を目指す」を理念とし、不動産業の創造を具体化するため街づくりを軸にビジネスを開拓しておられ、開発事例を倉橋社長様ご説明のもと見学させて頂きました。



次に人材の育成方法ですが、能力×情熱×方向性の組み合わせを重要視されています。社員を不動産の専門的コンサルとして位置づけることで、宅建取引士の保有率は高水準を保っており、経営理念等についてご講演を頂きました。「不動産を通じて社会貢献企業を目指す」を理念とし、不動産業の創造を具体化するため街づくりを軸にビジネスを開拓しておられ、開発事例を倉橋社長様ご説明のもと見学させて頂きました。

三浦半島には歴史的建築物、文化的要素が多いことを17年前に注目し、三浦市との関係性を構築しつつ、現在はトライアルステイプロジェクトにおいて、移住推進を市と協働で進めておられます。酒屋を改築し1階を

宿所に改修した蔵作り建築物「山田屋」等を見学させて頂き、地域創生、社会貢献への実例を学ばせて頂きました。

次に人材の育成方法ですが、能力×情熱×方向性の組み合わせを重要視されています。社員を不動産の専門的コンサルとして位置づけることで、宅建取引士の保有率は高水準を保っており、経営理念等についてご講演を頂きました。「不動産を通じて社会貢献企業を目指す」を理念とし、不動産業の創造を具体化するため街づくりを軸にビジネスを開拓しておられ、開発事例を倉橋社長様ご説明のもと見学させて頂きました。

また企業成長について、育ったグループ内企業は、部下へ責任を委譲し、社長は新しい会社を作るという循環モデルを徹底してきた結果、グループ全体の機動力を高めていらっしゃいます。次世代の経営を担うマインド部員へのメッセージとして、相続まで総合コンサルを行

い、お客様との関係を深めてこられた結果、グループでござります。所有と経営は別として、実務は実務ができる人への委譲の徹底、更に年一回、社員から社長へ職種希望を提出できる機会を与え、社員の定着率を高めておられます。

シー・エフ・ネット様のベンチマークを通じ、倉橋社長様の理念のもと、社員はもちろん、オーナー様、取引業者様が同じ物差し、ベクトルを合わせることが企業成長に繋がることを、マインド部員は学ばせて頂きました。

●繁忙期対策のディスカッション

12月4日には全管協本部事務局にて、マインド部員にて繁忙期対策ディスカッションを実施しました。反響を確実に成果に繋げたための取り組みとして、WEB対応に特化した専門部署を立ち上げ物件情報の量と質の充実化を図る、またVR内見の実現化に取り組むなど、IT化への取り組み事例の情報共有を行いました。

また繁忙期事前準備として、12月から若手社員向けに個人情報の取り扱い方等を含めた社内研修、またオーナー様フォローとしては空室対策としての設備提案、条件等の見直しを行う等を各社行っています。何より賃貸営業と賃貸管理部門の連携、店舗間の連携も、繁忙期には重要であると捉え、部員各社で社内コミュニケーションについて再度見直しを行うことで、空室対策に備えることとします。